

甘味資源作物の安定生産支援 (甘味資源作物等産地確立緊急対策事業)

【1, 550百万円】

対策のポイント

甘味資源作物等の生産性向上や安定生産を図るため、地力の増進など特に重要な取組や機械導入等を支援します。

<背景／課題>

- ・さとうきび、かんしょは沖縄県及び南九州において地域経済を支える基幹作物ですが、近年は台風や干ばつ等の自然災害により不作が続いており、地域経済を活性化するためには、生産性向上を通じた生産構造の安定化が必要です。
- ・また、平成27年8月に国内で初めてジャガイモシロシストセンチュウの発生が確認されたことから、早急にまん延防止対策を講じる必要があります。

政策目標

- さとうきびの生産量を増加
(116万トン(平成26年度)→153万トン(平成37年度))
- かんしょの生産量を増加
(89万トン(平成26年度)→94万トン(平成37年度))
- ばれいしょの生産量の増加
(246万トン(平成26年度)→250万トン(平成37年度))

<主な内容>

1. さとうきび産地確立緊急支援事業

地域ごとの「さとうきび増産プロジェクト」に定めた取組のうち、地力の増進など特に重要な取組を支援するとともに、生産性向上を通じた生産構造の安定化を図るため、株出管理機の導入等を支援します。

〔補助率：定額、リース料の6／10以内
事業実施主体：生産者組織等〕

2. いも類産地緊急支援事業

(1) かんしょ生産構造緊急強化事業

かんしょについて、近年の低温・寡照の影響等による収量の低迷からの回復を図るため、適期作業による収量増加などを可能とするマルチ栽培を行う機械の導入等を支援します。

〔補助率：物件相当額の1／2以内
事業実施主体：生産者組織等〕

(2) ばれいしょの病害虫のまん延防止のための施設等整備支援

ジャガイモシロシストセンチュウのまん延防止を図るため、農業機械や収穫物の運搬車両を農作物の集荷施設において洗浄する施設の整備等を支援します。

〔補助率：1／2以内
事業実施主体：生産者組織等〕

[お問い合わせ先：政策統括官付地域作物課 (03-3501-3814)]

甘味資源作物等産地確立緊急対策事業

【平成28年度補正予算額: 1, 550百万円】

目的・概要

- ◆ 甘味資源作物は、台風常襲地帯の沖縄県、鹿児島県等の基幹作物で地場産業である製糖工場等と共に地域経済と地域雇用を支える存在。このため、生産安定化や生産性向上により、地域経済を活性化させる。
- ◆ 甘味資源作物の生産性向上に向け、地域の核となる担い手に対し、ハーベスタ、株出管理機などの農業機械等のリース導入を図るとともに、台風、干ばつ、病虫害発生等の自然災害被害に対応した地力の増進、病虫害のまん延防止等の取組への支援による生産性向上や生産の安定化を図る。

対策

生産構造改革対策

さとうきび、かんしょ等の生産において、生産性向上を図るために必要となる農業機械等のリース導入を支援。地域の担い手と農業機械を核に省力化や作業の共同化等を推進。

取 組 例

<さとうきび>

適期植付、適期株出管理を行うため、収穫機と株出管理機等を一体的に導入



収穫機



株出管理機

<かんしょ>

適期に作業を実施するため、マルチ張り機や挿苗機等の導入を支援し、収量増加を推進。



マルチ張り機

増産・安定生産対策

さとうきび増産に必要な地力の増進、ジャガイモシロシストセンチュウのまん延防止等の取組を支援。

取 組 例

<さとうきび>

たい肥等による地力の増進



たい肥の散布

<ばれいしょ>

運搬車両の洗浄施設の整備

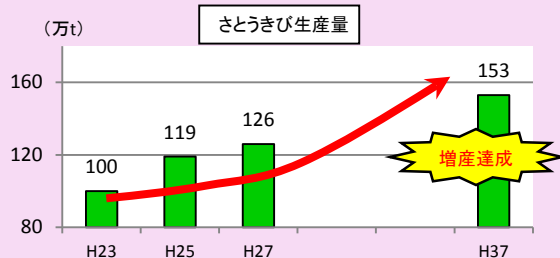


車両洗浄機

効果

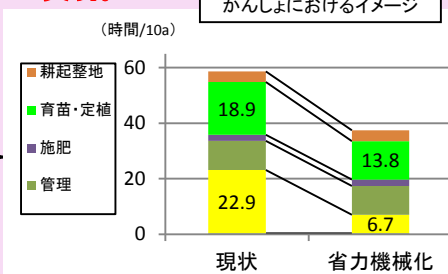
<さとうきび等>

ハーベスタ等の導入による生産性向上や台風などの自然災害被害への対策に取り組む。
→ 増産により、地域経済が活性化。



<さとうきび、かんしょ>

省力化や作業の共同化等により、労働時間が減少。
→ 生産コストの低減、労働力の確保が実現。



<ばれいしょ>

農業機械や収穫物運搬車両の洗浄の徹底による産地での万全なまん延防止。
→ 安定生産を実現。



<さとうきび等>

地域の若い担い手と機械化一貫体系に必要な農業機械を核に地域にマッチした農作業受委託体制を構築
→ 地域の若い担い手の育成により、足腰の強い甘味資源作物生産を実現。

【現状の手刈り率】

3割

特に沖縄では
4割



手刈りの状況



**未来への成長の鍵を握る地域の若い担い手を支援し、
魅力ある甘味資源作物生産を実現する**